

# 浄泉寺報

第5号  
2016年  
お盆



毎月開催している浄泉寺同朋会の様子

## お寺と私

浄泉寺筆頭総代 廣木 辰夫

私は島根県雲南市で生まれ、淡路島と同じように神話と関係の深い、出雲古風土記の里、出雲で育ちました。実家は真宗大谷派宗専寺の門徒でございます。

私は六〇年程前に地元の学校を卒業し、大阪市の商社に転職し、社会人としてスタートしました。

大阪府、和歌山県、兵庫県、岡山県、香川県と転勤、転宅をくり返しながら、昭和六〇年に淡路島へ移転し、現在に至ります。

個人的に宗専寺の門徒としてお世話になりましたのが、結婚後、和歌山へ赴任中に長男を亡くしてからです。転勤の身であり、実家の近くの病院で出産し、治療中であつた関係から、葬儀をはじめ仏事については、実家の慣習にならい実施し、お墓も実家の墓地の一部に建てました。

以降は小さな仏壇と位牌と共に新任地へ転宅し、命日、お盆、お彼岸等で帰省時には、お墓参りと合わせ宗専寺本堂へ参拝し、お経をあげていただきました。又、

日頃の参拝は、居住地の近くのお寺に宗派関係なしにお参りしていました。

平成二十二年に関係会社の退任を区切として、九月に浄泉寺住職様にお願ひし、お墓の移転と開眼法要を行い門徒となりました。

浄泉寺にお世話になりだしてから、私の仏様(仏事)に対する認識が少しずつ変わってきたように思います。

過去に経験がなかつた月に一度の同朋会どうぼうかいでのお勤めと仏教講座での聞法の場、その他お寺の年中行事やら、真宗本廟・東本願寺や姫路船場別院等の行事に参加する中で知識を積み、見聞を広め、修正を加えながら、毎日のお勤めをしております。ご門徒(門信徒)の皆様と共に浄土真宗の教えに向き合っていきたいと思ひます。

## 坊守から門徒の皆さんへ

浄泉寺坊守 望月慶子

昨年の1月、真宗大谷派(京都の東本願寺)の参務さんむに就任してから1年7ヶ月になります。現在は、月曜日から金曜日まで本山で仕事をし、土日にお寺に帰るといふ生活をしていふ。平日は住職ががんばってくれていふので助かっていますが、お参りの皆さんには不便をおかけしていることかと思ひます。

毎日、東本願寺・本山で執行役員として、総長と参務5人の内の唯一女性参務として、宗務

を執行しています。参務に女性が就任したのは、東本願寺始まって以来のことだということです。他の大きな宗教教団で女性が執行役員になっているところはないので、他教団からは驚かれています。

長い間、宗門しゅうもんに所属する女性たちと、人間平等を説く仏教教団において、女性が軽んじられているのはおかしいと言ってがんばってきた成果であるかもしれません。

担当は、組織部・国際室・首都圏教化推進

本部長・災害救援本部長として仕事をしています。組織部では、国内にある真宗大谷派の約8900カ寺を担当し、新しく住職になる人の任命であるとか、住職約8900人の管理をしております。また、寺以外に全国に別院が51カ所あり、沖縄にも別院が1つ、海外には南米に22カ寺と北米に4カ寺とハワイには4カ寺があります。それぞれに、ハワイ別院、ブラジル別院、ロサンゼルス別院があるので、出張は日本国中だけでなく、海外にも行くこともあり、結構ハードな仕事をこなしています。

ただ、うれしいことは、お念仏の根本道場である親鸞聖人の御真影ごしんねいがある本山の御影堂ごえいどうでお朝事あさじをしていることです。毎朝、親鸞聖人にお会いしています。

宗教界は、まだまだ男性中心社会ですので、ストレスも溜まりますが、後に続く女性のため、少しの間がんばろうと思っています。今は、週末に洲本の寺に帰るとホッとするので、時間を見つけて帰るようにしています。



里雄康意宗務総長(前列中央)と5人の参務

### お寺からのお知らせ

#### ◎ 9月、秋彼岸のお参り ◎

9月の秋彼岸のお参りは下記の通りです。ご都合が悪い場合には、事前にお寺までご一報ください。

19日(月・祝) 阿那賀・丸山・八木・伊加利・志知・湊・内田様・稲垣様

20日(火) 山手・宇山・下内膳・大野・金屋・池の内・宇原・桑間・海岸通・本町・栄町  
・その他洲本市内

21日(水) 千草・上物部・物部・塩屋・由良・天川・小路谷

22日(木・祝) 五色・佐野・志筑・安乎 ※同日午後2時からお寺にて彼岸会

◎ 12月、報恩講ほうおんこう ◎ ※真宗門徒しんしゅうもん徒にとって最も大切な法要です。

12月10日(土)・11日(日) お誘い合わせお参りください。詳細は次号(秋彼岸発行)に掲載予定です。

<発行元・問い合わせ>

真宗大谷派 楠林山 浄泉寺

〒656-0026 洲本市栄町4-3-43 電話 0799-22-4798